

# おとなりさん通販部×柏木美術鋳物研究所



さはり  
風と、砂張でつくる  
最高級の余韻。  
中町の鋳物風鈴。

加工が難しく、その余韻の美しさから「最高級の風鈴」と評される「砂張」製の小田原風鈴。故・黒澤明監督も惚れ込んだという風鈴の音を求めて、『柏木美術鋳物研究所』の、柏木さんを訪ねました。



さりげなく活けられた紫陽花。そこにまるで生きているかのように繊細な砂張で出来た蟹が。代々磨かれてきた技術の高さと受け継がれたセンスが隅々に息づいている。



工場のとなりにあるギャラリーでは、商品の販売も行っている。

『柏木美術鋳物研究所』  
小田原市中町3丁目1-22  
問い合わせ TEL.0465-22-4328

小田原市中町の『柏木美術鋳物研究所』を訪ねると、「リーン。リーン。」と、梅雨のムシムシとした気持ちが出迎えてくような、きれいな音が出迎えてくれた。  
柏木さんが作っている風鈴は、よくあるガラス製のものではなく、通称「小田原風鈴」と呼ばれる「真鍮」製と「砂張（さはり）」製の鋳物で出来た風鈴だ。  
聞きなれない「砂張」という金属は、仏具の「おりん」などにも使われている合金のことで、「砂張」でつくった風鈴は鳴らした時の音がとても澄んでいて、しかも驚くほど美しく余韻長く続くため、「最高級の風鈴」とされている。その音色は、あの黒澤明監督をも魅了し、映画「赤ひげ」の浅草寺の境内のシーンで非常に印象的に使用されている。

柏木美術鋳物研究所は、もともと鋳物の中でも「鳴物」を主に取扱っている。かつてはシンバルや銅鑼（どら）なども制作していた。  
柏木家の歴史はとても古く、貞享3（1686）年、大久保忠朝に従属し、佐倉藩を経て小田原の鍋町に移り住み、代々鋳物業を営んでいる。現在の社長は柏木照之さん。今年37歳。  
「初めて鋳物の世界に触れたのは、浪人生だった19歳の時。祖父の兄弟が営んでいた柏木美術鋳物研究所に手伝いに行っただけです。それからは大学が休みの時も手伝っていました。」  
27歳のときに柏木美術鋳物研究所社長に就任して以来、型の制作、型への鋳込み、鋳込んだものの加工、着色や組み立て、仕上げ、仕上りのチェックなど、鋳物制作のすべての行程を担当して

暮らしの基本は道具にあり。いい道具と、ゆつくり、ながく暮らしたい。おとなりさんが見つけた、暮らしの道具をご紹介します。

監修：高田美央（器・生活道具 日和店主）

やっぱり小田原で暮らすのが一番フェア

住まいと暮らしの相談会 **第4回 やんべ〜よ**

**2015年9/12(土)・13(日)**

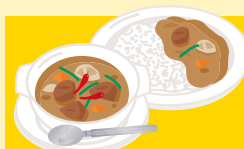
**小田原アリーナ・サブアリーナ 特設会場**

午前10時～午後4時 予約不要です、ご自由にご来場ください。入場無料です。

カンタン・快適・安心安全な住まいづくりのご相談はもちろん、借り換えでおトクにリフォーム、省エネポイントでさらにおトク、ソーラー発電や小田原フローリング補助金でますますおトクな暮らしのご提案をわかりやすくご案内いたします。ぜひご家族でお越しください。

お問い合わせは **電話 0465-23-1851**

小田原の森と住まいづくりを応援する  
小田原地区木材業協同組合 神奈川県小田原市中町3-11-27



ご来場された方には、**カレーセットプレゼント**

※各日先着100組さま、1世帯に付き1回まで。

**外壁、水回り、省エネ、バリアフリーなど、メーカーおすすめ商品が大特価！**

**おトクで楽しいイベントコーナー**

- お菓子まき、じゃんけん大会でプレゼントゲット!
- ステージイベントはフラダンス、ストリートダンスなど
- 職人のスゴ技を直伝する「かんなげずり体験」
- あたたかい木の手触り「木のジャングルジム」「積み木あそび」
- 地元の朝採れ食材で作るランチコーナー

**2日間限りのご成約特典**

**1等:足柄牛 焼き肉セット**  
**2等:地元野菜詰め合わせ 3等:お米 2kg**